

中播磨支部運営委員会



播磨OH!

～HARIMA～

63号

発行責任者
三野 貴裕
水谷 涼太
支部長
機関誌担当

—特集—
支部長挨拶
退任挨拶
新人発表会
姫路城マラソン



2023年3月発行



支部長挨拶



令和4年度 支部事業の振り返りと今後について

社会医療法人松藤会 入江病院 三野 貴裕

平素は兵庫県理学療法士会中播磨支部の活動に格別なるご配慮を賜り、誠にありがとうございます。また、会員の皆様方におかれましては、日々変化する感染状況の中で中播磨地域の健康福祉に貢献していただき感謝いたします。

さて、今年度の中播磨支部事業は感染状況を見極めながら一部対面での事業を再開することが出来ました。研修会に関してはオンラインでの開催となりましたが、7月15日に兵庫医科大学リハビリテーション学部 松沢 良太 先生をお招きし『腎不全症例に対する理学療法の考え方』というテーマで、12月16日には川崎医療福祉大学リハビリテーション学部 澳 昂佑 先生をお招きし『“足”の機能解剖から考える 運動器疾患に対する理学療法』というテーマでご講演いただきました。両勉強会共に参加者が200名を超え多くの先生方に参加していただきました。新生涯学習制度が開始となり、中播磨支部でも会員の皆様により良い研修会を提供していけるよう、今後も取り組んでいきたいと考えております。

また、今年度も多くの新人の先生方が中播磨支部内施設にご就職され、1月22日には37名の先生方が、無事に新人発表を終える事ができました。どの演題も個性に溢れた素晴らしい発表であり、是非県学会への演題登録に繋げていただければと思います。

中播磨支部では今後も、研修会企画・スポーツ活動支援・新人教育・他職種連携・地域貢献など様々な活動を行っていきたく思いますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

最後になりますが、今年度で中播磨支部長を退任することになりました。思い返せば、2012年に前々支部長（私の長期実習のバイザー）から、運営委員へのお誘いを受け、実習でお世話になったこともありお手伝いをさせていただくことになりました。右も左もわからない中、運営委員の先生方をはじめ、たくさんの方々に支えていただき11年間支部運営に携わることができました。来年度は副支部長として次期支部長の厚生病院 富田先生をサポートしていきたいと思っております。





退任挨拶



今年度にて、三木先生、上下先生、岡田先生、水谷先生が退任されます。先生方は中播磨支部の発展・活性化のために尽力をつくされ、ご活躍されました。

そこで各先生方に中播磨支部運営委員活動を振り返っていただきました。

医療法人公仁会
石川病院

今年度を持ちまして、中播磨支部の運営委員を退任することとなりました。6年間、会員の皆様にご指導いただきながら、主に研修班や事務局を務めさせていただきました。振り返ってみますと、病院外での活動にて様々な先生方と話をさせていただき多様な考え方に触れたことは、今の自分になくはならなかったと感じております。理学療法士の社会的な立ち位置、役割と広い目で考えるきっかけにもなりました。6年間、続けてこられたのは運営委員諸先輩方のご指導、現在の運営委員メンバーとの楽しい時間があったからです。感謝と敬意の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

三木 大輔

今後とも中播磨支部運営にご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

兵庫県立
はりま姫路総合
医療センター

2014年から会計を7年間と災害担当と職能部を2年間の計9年間中播磨支部の運営委員を務めさせていただきました。会計では中播磨支部の年間事業に必要な費用を算出し、予算を立て、その予算管理を行いました。また、職能部で施設間の繋がり（コミュニケーション）、災害担当では中播磨支部の避難所リスト作成、災害対策部の担当者会議や研修会に参加させていただき、コミュニケーションと備えの大切さを学びました。

上下竜平

支部運営委員を経験した中で、特に災害リハビリテーションに興味を持つことができました。国内で被災があった際に何らかの形で災害に携わることができるように今後も災害リハに関する知識や経験を積んでいきたいと思っております。最後になりましたが、中播磨支部活動の中でお世話になった役員の方々、会員の皆様ありがとうございました。





日本赤十字社
姫路赤十字病院

岡田 祥弥

今年度をもちまして、中播磨支部の運営委員を退任することとなりました。在任中、新人教育担当を中心に、支部活動として引き継いだ初年度の姫路城マラソンの担当、災害担当など、様々な役割を与えていただき、それぞれの担当で、目の前の自分の役割を全うするために全力で取り組んできました。忙しくも充実した日々を過ごすことができ、特に他施設、他分野の方と関わり、繋がっていったことが、これからの私のPT人生の最大の財産になると思います。まだまだ半人前であった3年目から8年もの長期にわたって、周りの皆様に支えられて進んでくれたこと、大変感謝しております。退任後も、微力ながら中播磨支部のためにお役に立てればと思っております。今後とも中播磨支部運営へのご協力を宜しくお願い致します。

公立神崎総合病院

水谷 涼太

今年度で退任となります。新任当初から広報を担当させて頂き、多くの会員の先生方と関わる機会を得ることができ、新たな関係性を築くこともできました。貴重な経験となり、大変感謝しております。コロナ前は新人歓迎会やボーリング大会、ビアガーデンといった行事があり、日々スケジュールに追われていたのが今は懐かしく良い思い出となっています。企画自体は拙い司会進行でご迷惑をお掛けしたかもしれません。皆様の協力により、何とか無事に終えることができたと思っております。現運営委員を長年支えて頂き、本当にありがとうございました。今後、私は陰ながら応援したいと思いません。新体制に期待しています。

退任される先生方、長年にわたり本当にご苦労さまでした。
今後のさらなるご活躍を期待しております！！





3士会合同啓発活動



社会医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院 小林 優太

2022年10月23日（日）にMEGAドン・キホーテ姫路広畑店で3士会合同啓発活動を行いました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となりました。理学療法士会は、基本チェックリスト、握力測定、5m歩行速度計測を実施しました。参加者は約20名でした。

中播磨・西播磨支部合同研修会



医療法人仁寿会 石川病院 大谷 武史

令和4年12月16日（金）に中播磨・西播磨支部合同研修会をZoomを用いてリモート開催致しました。

川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 澳 昂佑 先生に『“足”の機能解剖から考える 運動器疾患に対する理学療法』というテーマでご講演頂きました。多数の申し込みがあり、当日の参加者は約265名でした。複雑な関節機能を有する足部に関して、動画等による説明や症例提示があり、大変分かりやすく参考になりました。研修会後の質疑応答ではリモートにも関わらず活発に発言があり、場を盛り上げて頂きました。

参加された先生方は明日からの臨床に是非生かして頂ければと思います。多数の参加、本当にありがとうございました。





新人発表会

卒後教育班

社会医療法人松藤会 入江病院 張間 大生



令和4年度中播磨支部新人発表会が、去る令和5年1月22日（日）に開催されました。今年度も昨年度同様にオンライン会議アプリであるZoomを利用したWeb上での開催でしたが、計37名の先生方が無事に発表を行う事が出来ました。今年度は新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行している中、座長の先生方を中心に様々な視点から質問やアドバイスを頂く事が出来ました。更に、今年度も談話コーナーを設けることで、質疑応答の時間では伝えきれなかったアドバイス等を頂くことが出来、有意義な発表会にすることが出来ました。運営委員一同、心より感謝申し上げます。

兵庫県理学療法学術大会への推薦演題決定！！

今年度より、第34回兵庫県理学療法学術大会(令和5年6月25日（日）：アクリエひめじ)への支部推薦演題の選考基準が変わりました。今回の支部推薦演題は、多数の先生方が一定の点数を満たしました。おめでとうございます！日頃の努力が報われましたね。是非とも学会大会に挑戦して頂き、これからもますますご活躍されることと期待しております。





世界遺産姫路城マラソン2023



段医院 木村 公一

令和5年2月26日(日)に4年ぶりとなる世界遺産姫路城マラソンが開催され、多くのランナーが姫路市内のコースを楽しみながら駆け抜けていきました。中播磨支部から26名の理学療法士が出務し、救護所にて応急処置対応を行いました。幸い重症事案の発生もなく、無事に大会を終えることができました。活動された先生方からも貴重なスポーツ現場に関わることができ、よい経験になったというお声をいただきました。コロナ禍での開催であり、今後も様々な対策を講じて実施していくこととなりますが、来年度以降も大会をサポートしていきますので、ご興味のある先生は是非世界遺産姫路城マラソン救護活動にご参加ください。





活動実績



令和4年

- ★6月 播磨OH！第62号発行
- 7月9～10日 第57回日本理学療法学術研修大会 inとやま
- ★7月15日 第1回中播磨支部研修会
テーマ：腎不全症例に対する理学療法の考え方
参加者数：約200名
- 8月21日 第33回兵庫県理学療法学術大会
- ★8月25日 新人発表会直前対策説明会
- ★10月23日 3士会合同啓発活動
- ★12月16日 中播磨・西播磨支部合同研修会
テーマ：“足”の機能解剖から考える
運動器疾患に対する理学療法
参加者数：約265名

令和5年

- ★1月22日 中播磨支部新人発表会
- 2月5日 第62回近畿理学療法学術大会
- ★2月26日 世界遺産姫路城マラソン2023
- ★3月 播磨OH！第63号発行





編集後記



春の風が心地よい季節となりましたが、おかわりございませんか。今年度も無事に最終号を発行することができました。これも支部活動に協力して頂ける先生方のおかげと感謝しております。

今年度もCOVID-19の感染拡大が支部活動にも影響を与えています。研修会に関しては、Web開催のみを余儀なくされています。懇親会も開催の目途が立っておりません。会員同士の交流の機会が無くなり、大変残念に思っています。来年度も運営委員一同結束し、取り組みを解決してきます。今後とも中播磨支部活動および運営委員を宜しくお願い致します。

今回は新デザインで作成を試みました。ご意見あれば連絡いただければ幸いです。私は退任となりますが、新体制を宜しくお願い致します。本当に今までありがとうございました。

機関誌担当 公立神崎総合病院 水谷 涼太

会員の皆様にお願ひ

会員の異動動向や新人の就職動向の把握が県士会および支部の運営委員だけでは困難となってきています。近隣にリハ部門開設予定・開設した病院や新人が就職予定・就職した病院はありませんか？

何か情報がありましたら、下記メールアドレスまでご連絡下さい。

中播磨支部事務局 医療法人仁寿会 石川病院 三木 大輔

次回は6月発行予定です。お楽しみに！

